

2016/5/12

モリエール『タルチュフ:あるいはペテン師』戯曲喜劇。
(仏語原題: *Le Tartuffe ou l'Imposteur*)
1664年発表。同年5月12日、ヴェルサイユ宮殿にて初演。

平成戯曲「タルチュフあるいは鳩谷間」 352年記念公演

平成タルチュフ:

できるものならば、再度、皆様！
喜んで、皆様のために総理の座を！
私だって、
政権党や野合集団の民進を歯牙にも掛けていません。
また、何一つ、彼らを責めようとは思いません。

私の心は、彼らを許しています。
これこそ、神のお命じになったこと。
心から日本、いや、中国と韓国、
さらには、露西亞のために、
全身全霊で尽くしたいとさえ考えています。

しかし、神の思し召しがそれに反対なのです。
他党が政権を取れば、
一党独裁で、私の憧れの国々と異なり、
日本国憲法では、私も護憲を言った手前、
私が出ていかねばなりません。
あんな惨敗をした後で、
私たち同志が素知らぬ顔で居残っていたら、
却って悪い噂が立つでしょう。

さっきも申し上げた通り、私の心は、
もう政権与党と騙されやすい国民を許しています。
これこそ、
神の命じたもうことを行うことではありませんか？

しかし、
今日のように騒ぎ立てられ、
内外で侮辱を加えられたからには、
神も、私があの人たちと一緒に政治をすることを、
お命じにはならないのです。

では、皆様
不再見、アンニョンヒケーヤヨ、ダスヴィダーニヤ・・・

第四幕終了